

令和5年度 第3回学校運営協議会 議事録

日 時：令和6年3月21日（木） 13:30～15:00

場 所：神奈川県立商工高等学校 応接室

司会者名：企画研究グループ 中島

記録者名：企画研究グループ 中山

出席者：学校運営協議会委員4名、本校職員11名

欠席者：（委員）鈴木 学 様

（委員）小澤 芳明 様 *文書による意見聴取

（委員）東 宣子 様 *文書による意見聴取

（委員）樋口 知幸 様

1 次 第：（1）校長挨拶

（2）議事

① 令和5年度学校評価報告書（実施結果）に基づく各グループ等からの報告

○カリキュラム開発グループ

○学校管理運営グループ

○企画研究グループ

○ガイダンスグループ

○生徒指導グループ

○生徒支援グループ

② 意見交換

2 配付資料

（1）神奈川県立学校のコミュニティ・スクールの手引き

（2）令和5年度 学校評価報告書（実施結果）

（3）資格取得状況

3 議事録

（1）校長挨拶【校長】

- ・令和5年度の行事がほとんど終了し、残るは球技大会と終業式のみとなった。入学者選抜では久しぶりに定員割れを防ぎ、2次募集をしないで済んだ。来年度以降もさまざまな機会を利用してPR活動をしながら、本校の魅力をもっと発信していく。また来年度も定員割れを起こさないように頑張っていきたい。
- ・学校評価について、学校関係者のご意見をお聞かせください。

(2) 議事

① 令和5年度学校評価報告書（実施結果）に基づく各グループ等からの報告

○カリキュラム開発グループ【大嶺総括教諭】

スタディサプリ（スタサブ）が、来年度で全学年実施になる。当初の目的である学習の定着がまだ難しい。導入当初、出した課題が提出されないことが多かったが、本日行った補講では課題が消化できていない生徒を3人まで減らすことができた。課題に取り組む意識はつくることができたと思う。学び直しが必要なことを生徒に対して話していきたい。

・資格取得について、今回は漢字検定の実施はできなかった。電気工事士では、一昨年は電気工事1種を受験した生徒がいなかったが、昨年度は3名、今年度は4名受験した生徒がいた。また、教職員も電気工事士の試験を受け資格取得をしている。また、理科・社会・国語の先生なども合格している。

・「主体的・対話的で深い学び」につながるICT活用について、毎年授業改善の研修会を行っている。

○学校管理グループ【伊藤総括教諭】

・工業教育と商業教育との連携強化について、共通の選択科目での授業や合同の課題研究発表会を行った。カリキュラムグループから示された資格取得状況についても、総合ビジネス科の生徒が総合技術科の資格をとることなどが連携に繋がっていると考える。

・防災について、危機管理マニュアルの改訂作業があるのでそれを進めていく。今年の1月に大地震が起きたので他人ごとではなく危機感をもって生徒に対して防災訓練を行う。

・Teamsを利用して会議のペーパーレス化、会議の時間短縮はできたと考えている。

○企画研究グループ【中島総括教諭】

・倍率について総合技術科が1.02倍、総合ビジネス科が1.04倍となった。校長先生筆頭に教職員が学校の外での活動や宣伝で得られたものだと考える。また、神奈川県工業高校の全体倍率平均0.8倍で本校は平均を超えることができた。商業科に関しては1.08倍で超えられなかったが、1.0倍を超えることができたことを嬉しく思っている。SNSを活用し、メルマガ配信、HP更新を昨年度より行なえた。今年度は中学生向けのメルマガの配信や学校パンフレットの改良をし、計10回を超える学校説明会を実施できたことが、今回の結果に繋がったと考える。

○ガイダンスグループ【高木総括教諭】

卒業生180名のうち就職が96名、公務員は1名で54%。進学は四年制大学が25名、専門学校が50名、職業訓練校1名で43%程度、残りの3%はアルバイト、進学準備、家業を手伝う、縁故で就職する生徒となる。

・「ハンディー進路指導室」というアプリの利用で2学年から求人票検索をする練習をして

いる。インターネットで見ることができると、保護者も見ることができるとはメリットと考えている。

・進路ガイダンスも今年ではできた。1年生、2年生、3年生合わせて14回ほど実施することができた。企業のみでなく、専門学校、大学にも来てもらい有用なお話を頂いた。

・昨年度の反省で卒業見込みがたたない生徒がいた。1学期の段階で卒業見込みを出すことを頑張る。また、進路にかかる事故・不祥事は今年度もなかった。

・1社受け内定を貰えなかった生徒がいた。落ち込んでいる様子でなかなか決まらなかったが、2月ようやく決まった。主体的に動く能力が本校の進路指導の要になると考える。また、内定を辞退した生徒が1名いた。求人票に書かれていたことと、話を聞いたことが違っていた。と主張していたが、話を聞くと大きく違わなかったため、苦情の電話は入れることはしなかった。今後の商工高校に関わっていくことなので、本人と家族も含めて説得したが失敗した。このようなことが進路担当としての反省点である。

○生徒指導グループ【遠藤総括教諭】

・交通安全週間を1週間作った。自転車の苦情が半分くらいに減った。事故を起こすことが毎年あったが、今年は聞いていない。

・身だしなみ指導も去年と比べて減った。指導される生徒は同じ生徒が多い。担任の先生の努力により全体的に減っていると考えている。

・SSW・SCの活用が非常にできていると考えている。昨年度に比べ、利用する数が増加しており、生徒たちの困りごとや悩みを聞いており、サポートできていると考えている。SSW・SCの尽力により、生徒に落ち着きが出てきている。コロナによる制限が減り、友達と一緒にいる時間が増え、昨年の苦情は前年度より減少した。今後も近隣住民の方々にご協力を宜しく願います。

○生徒支援グループ【加藤総括教諭】

・体育祭・文化祭等の学校行事に関して生徒満足度の高い学校行事を目指している。学校行事は生徒主体で進めていくことが大切であると考えている。大きな骨組みは職員で考えるが、それ以外は生徒主体で学校行事をつくっていく。

・部活動に関して、昨年度に比べて体育館が耐震化工事で使用できないにも関わらず、非常に活発に活動している部活動が多くあったが、部活動に入部している生徒が減少したことは残念である。具体的には全校で35名減った。本校ではアルバイトによる加入率低下とどのように向き合っていくかが課題だと考えている。

② 意見交換会

【中委員】

資格取得に関して、電気工事士の合格率が上がった要因は何か？

【大嶺総括教諭】

一人の先生だけでなく色々な先生が手伝う形になったのが要因の一つと捉えている。

【中委員】

ITパスポート取得に関する取組状況を知りたい。ITパスポート内の言葉を知っておいてほしい。難しい内容とってしまう生徒がいるのではないかと？ITパスポート取得に向けた取組を推進してほしい。

【大嶺総括教諭】

知らない言葉や、難解な言葉が多いため、取り組む生徒が少ない。

【中委員】

ITパスポート知るきっかけ作りを、今後してほしい。

・進路指導に関して、進みたいところを見つけるために必要だと思うので続けてほしい。

1回目がダメで2回目の就職活動をしている生徒を積極的に採用する会社がいることを知ってほしい。

・他校と比べてHP等が充実している。色々な人が見られるようにしてほしい。中学生向けのメルマガ配信も素晴らしい。中学生向けのメルマガをどのような形で周知し、登録してもらっているのか？

【中島総括教諭】

学校説明会等に来られた方に登録を勧めている。

【中委員】

メルマガで紹介された内容もHPに載せURLを貼り付けてもよいのではと考える。HPを見ることで記事の内容以外のものも見てくれると考える。

・課題研究発表会については、下の学年の生徒にも参加させていることが素晴らしい。先輩の活

動を知る機会にもなっている。また、その課題に取り組む難しさ、苦勞をした所が伝わらない。一般的な人が見ても理解できるように改善をしてほしい。プレゼン資料のレベルの高さに驚いた。引き続き来年も楽しみにしている。

【中村委員】

先日外部機関にお願いして私の運営する法人の弱味、強味を洗いざらい分析してもらった。法人に関するアンケートも左近山団地の方々に取った。左近山団地は50%が高齢者。スマホの活用もできていない。Lineも使いこなしていない60代以上の方が多い。そのような中、アンケートに対する回答のうち、男性が半数以上いて驚いた。本法人を利用している人ではないが、認知してもらっていた。全体的に俯瞰して見たら、IT活用は団地にも必要なことが分かった。

商工の今年の入試が定員割れしなかったことがすごい。情報発信がこれからの時代に必要であることを感じた。防災訓練にもITを活用して自治体を盛り上げたい。

【千葉委員】

メルマガの生徒に刺さる言葉選びが楽しい。

進級ができないと決まった生徒に関する指導について、教えてほしい。

【大嶺総括教諭】

商工は2科目以上で評定1がついたら進級ができない。3カ月～4カ月休むと未履修になる。担任を通して、生徒・保護者とも面談をしている。原級留置を選択する生徒は商工ではほとんどいない。せっかく履修できた科目があるのに、またすべてを取り直しとなるため、同じ生活をするのが面倒となり原級留置を選択する生徒は少ない。また、原級留置となった生徒の進路は決まらない人がほとんどである。

【兼田委員】

スタディサプリの活用が効果的に行われていることが素晴らしい。資格についても大幅に増加したことが素晴らしい。皆さまのご尽力の賜物だと思う。生徒指導の交通ルールについても中学生は怪我をしなければ良いといった考えをもつ生徒が多いため、道路を横切ったりする生徒がいる。商工は指導の減少がみられているので中学校側も見習いたい。メルマガ等の先進的な取組も素晴らしい。さらにビジネス科と技術科の相互理解ができていることが評価できる。Teams 活用のペーパーレス化も評価できる。今年度の Web 出願は混乱した。ちょっとでも来年度が改善されればよいと思っている。来年度も橘中学校の生徒を宜しく願います。

【東委員】

地域の行事に生徒が参加して下さった事により、より良い行事選びとなり、新しい取組ができた。もう少し打ち合わせの時間を取ることができればさらにコミュニケーションが深まったと思う。

【小澤委員】

- ・総合技術科にとって、資格取得の支援は生徒にとってありがたい支援だと思う。
- ・端末を使用した授業について、今では当たり前になっているかと思うが、企業に入れば当たり前のツールになっているので、ますます利用が進めばいいなと思う。
- ・生徒指導について、学校訪問すると、生徒の大きな声で挨拶してくれるのは好感が持てる。引き続きのご指導をお願いしたい。
- ・部活動加入率について、同窓会報でも紹介するが、少ないように思える。部活動ではなく、同窓会のようなものもよいのではないか。
- ・進路指導について、商工の就職は昔から良い会社に入社できるのは先生の努力によるものと感じる。引き続きよろしくをお願いしたい。
- ・地域との協働で、美立橋という地域から、近隣の高校となると商工だけだと思う。左近山団地はお年寄りが多いので住民地域のお祭りなどにも参加するなど、地域に根付く課外活動も素敵なことだと思う。
- ・学校運営について、商工の魅力は、学習カリキュラムとして商品開発や箱根魅力化プロジェクトなど、進学校にない授業を受けることができることだと思う。自分たちの時は、せいぜ

い実験・実習ぐらいしかなかったので、社会の仕事そのものを体験できることは、羨ましい限りである。

③ 意見交換

【校長】

来年度から4年間の目標の再設定と令和6年度の1年間の目標をまた設定し、お示しします。

【副校長】

HPの更新はグループが責任もって行っている。先生方も部活動などを記事にしているのよい循環が実施できている。メルマガは今年度から配信をしている。PTAの方とお話しているなかで、生徒経由では必要な情報が共有されていない状況がある。生徒のみならず、保護者にも周知・徹底が必要な情報が多いが、生徒が読んでも理解しやすく記載することを心がけている。

【千葉委員】

メルマガ配信は非常にありがたい。学校の予定が子どもから受け取れないので感謝している。

【副校長】

進路決定してない中で、商工の中学生向けメルマガの受信を悩んだ方が多かったのではないかと考える。結局、12名が登録してくださった。

【中村委員】

電動キックボードに関して、商工では何かあったか？

【遠藤総括教諭】

電動キックボードに関しての指導はなかった。登下校での使用は禁止と決めている。

【中村委員】

新しい動きとして、免許がなくても乗れるので交通事故や加害者が出てくる可能性がある。日ごろからの交通安全指導をお願いしたい。

【副校長】

合同課題研究発表会の動画を、先日配信をさせていただいた。他にも親子ものづくり教室の動画を今年度は配信している。来年度も本校の特色となる動画の配信を継続していきたい。

事務連絡

手引きについて令和6年度の改定について

- ・来年度は有識者を2名追加する。有識者とは、大学教授等の研究者、NPO法人の構成員、民間企業の経営者、校長経験者や指導主事経験者等のこと。学校運営協議会の場にさらに2名追加されることをご承知おきください。有識者の報告書もありますのでご承知ください。